



## 第14号

発行 宝木地域づくり推進協議会

(事務局)

宝木地域コミュニティセンター内

〒320-0065 宇都宮市駒生町3364-29

(宝木小学校内)

TEL・FAX 028 - 624 - 0531

(印刷) DTP de-co Tel 090-9370-8874

(題字 北條信男 書)

寒さに負けず球を追う  
～冬の球技大会～

宝木地区育成会は、2月10日（日）宝木中学校で冬の球技大会を行いました。

三年生以下のミニサッカー12チーム100名、4年生以上のネオホッケーには男子7チーム、女子4チームで計72名が参加しました。

真冬の寒い日でしたが、ひとつ目のボールを追つて蹴りあい・クラブを振り、コートいっぱいを元気に駆け巡って競っていました。このような勝負戦の中でも、仲間・友達をつくり一日を楽しみました。  
成績は次の通りです。

## ◎ミニサッカー大会

優勝	二の二A
準優勝	東中丸
三位	西中丸B

◎ネオホッケー大会  
男子の部

優勝	西中丸
準優勝	二の二B
三位	東中丸

## 女子の部

優勝	二の二A
準優勝	西中丸
三位	二の一

## 各種団体紹介①

### 体育協会

体育協会は、市民からの認知度は高い団体です。私共宝木地区体育協会の母体である宇都宮市体育協会は、戦後間もない昭和23年に、市民の健康増進・体力増強と、スポーツ活動の普及・充実を図るため、スポーツ人口の拡大・競技力の向上を目的に設置されております。同協会には、現在、宝木地区を含め39の「地区体育協会」、41団体が加盟する「アマチュアスポーツ団体」があり、各種大会や教室等を開催しております。また、昭和39年に専門委員会として「宇都宮市スポーツ少年団本部」が設置され、スポーツを通じた青少年の健全育成に努めています。

宝木地区体育協会は、昭和47年宝木地区自治会連合会が誕生した年に、宝木地区住民の体位向上と健全なスポーツの普及、そして地区体育の振興に資するという目的のもとに設置されました。以来、体育祭を始め各種目別の大会の開催、スポーツ少年団・育成会の支援などを行つております。

### 体育祭

体協のもっとも大きな事業は、承認の「宝木地区体育祭」で毎年10月の体育の日前日の日曜日に宝木小学校校庭において開催しています。



そろつて一日を楽しめるイベントになっています。また体育祭が地域の人々の親睦を図り、自衛会の連帯意識を深める大切な行事であり、地域住民に根差した伝統ある行事となつておりま

### 専門部

アマチュアスポーツを進めるために、次のような専門部を設置して、自治会対抗の競技大会を実施しています。優勝チームは、市大会、県大会そして全国アマチュアスポーツ大会に参加できます。昨年は弓道部が市の大

- ①野球 ②バレー・ボール
- ③卓球 ④ソフトテニス
- ⑤ソフトボール ⑥サッカー
- ⑦バトミントン ⑧柔道
- ⑨剣道 ⑩弓道 ⑪ゴルフ
- ⑫ゲートボール
- ⑬バスケットボール

### スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団は、スポーツを通じ子供たちの健全育成を目的として、小学生を対象にした組織です。当地区には、野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール・剣道・柔道・空手・ダンス部の8種目について、宝木

会で優勝し、バレー部女子が全國ママさんバレー・ボール大会に出場しました。市民体育大会の12種目のほか、児童・児童誰もが参加できる公開競技や、児童と両親の息の合った姿が見られる競技などが行われ、まさに家族

位でした。

育成会が主催する、ミニサッカーやネオホッケー大会を中心とした夏・冬の球技大会を支援しています。両大会とも大勢の小学生が参加し、自治会単位の球技に頑張っている姿は、私たち大人にすがすがしさを与えてくれます。

会長	本田 清一(駒生団地)
副会長	杵渕 広(1-2)
	萩原政登志(西中丸)
山本 隆二(西中丸)	
小野 憲一(東中丸)	
平野 朱美(2-1)	
柳岡 俊子(東中丸)	

## 春の交通安全市民総ぐるみ運動

4月6日から15日まで10日間

### 「スローガン」

マナーアップ! あなたが主役です。

### 「運動の基本」

子どもと高齢者の交通事故防止

### 「運動の重点」

1、自転車の安全利用の推進(自転車は車両です。法令遵守の徹底)

2、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

3、飲酒運転の根絶 飲酒運転を「しないさせない」の決意をする

4、子どもや高齢者に優しい3S運動の実践



優勝 宝木二の一  
準優勝 宝木二の一  
三位 西中丸

## ゴルフ大会

### ゴルフ大会

宝木地区ゴルフ大会は、11月20日サンレーキカントリークラブで、20代から80代の精鋭73名が参加して行われました。前日までの冷え込みは嘘のよう快晴に恵まれ、全員元気に楽しむスポーツを満喫されました。上位5名の成績で競う自治会対抗の成績は次の通りです。

# 宝木地区婦人防火クラブ 20周年をむかえ

会長 浅野 まさ

婦人防火クラブは、「家庭から火を出さない」を合言葉として火災予防の知識や技術を修得し、地域の連帯意識の高揚を図り日々より活動してまいりました。

宇都宮市全体では、昭和37年8月に東地区婦人防火クラブが結成されたのを皮切りに37地区（現39地区）で結成され、昭和46年11月には、各地区的クラブが互いに連帯協力し合い活動を行う目的で、宇都宮婦人防火クラブ連合会が組織されました。

宝木地区では、婦人会の中で活動していましたが、平成5年婦人会が解散したので、婦人防火クラブとして独立し、早くも20年になりました。現在消

防学校一日入校、消火競技会、視察研修、防火教室、防火広報、宇都宮市防災訓練、宝木地区防災訓練への参加と一年を通じ活動をしています。ところで、皆様の家では住宅用火災警報器は取り付けましたでしょ？ 栃木県では、平成21年6月からすべての住宅に設置が義務付けられました。すべての寝室はもちろん、台所、階段などに付けてありますか。3000円程度で購入できますし、どなたでも簡単に取り付けられます。たった一つの命です。一日も早く住宅用火災警報器をご自分とご家族の安全のため取り付けてください。

むすびに、今年の消防出初式で宇都宮市長特別表彰をいただきました。これも地域の皆様のご協力ご支援の賜物と感謝いたします。これからも婦人防火クラブの行事に多数のご参加をお願い致します。

## 西が岡SC

西が岡SCは、西が岡小学生を中心のチームです。

サッカーを通して、体を鍛え仲間と共に歩むことを目標にしていますので、楽しく・のびのびと活動しています。

10月に行われた県少年サッカー大会では、素晴らしいチームワークにより、4回戦まで勝ち抜きました。

練習日は、水・木・土・日曜日ですが、見学、体験したい方を歓迎しております。

監督 相樂卓夫  
代表者 高 康彦



## 西が岡学童野球部

西が岡学童野球部は、現在13人の部員で活動しています。昨夏は、憧れの県大会出場を果たしました。「何かスポーツをしようかな？」と思つてたでしょ？ 栃木県では、みんなで一つの目標に向かって頑張るスポーツです。

女子も歓迎します。興味のある方は、是非見学に来てください。

練習日は、水・金・土・日曜日ですが、

土・日曜日は対外試合を多く取り入れています。

代表者 須藤健一



## スポーツ少年団の紹介

### FC宝木

FC宝木は、野球を通して子どもたちの主体性と健全な心を養うため、子供・保護者・指導者が一体となって活動しています。

我がFCは30余年の歴史があり、その間の活動がスポーツの振興に大きく貢献されたと認められ日本スポーツ少年団から表彰された伝統のある

チームです。楽しい野球！やる気のある子供たち、集まれ！

練習日は火・木・第4土曜日と月・二回の日曜日です。

監督 田中 泉



## 宝木ファイターズ

宝木ファイターズは、子どもたちが心身ともに大きく成長遂げるよう、全員一丸となつて活動しているチームです。部員は一年から五年生までおり、下級生の面倒見よく、皆で楽しく野球をやっています。チームの自慢は、全国大会や関東大会などに出場するなどの実績があることです。新入部員は隨時募集しております。地域の皆様、これからも応援よろしくお願いします。

練習日は月・水・金、第一・三・五土曜日と月第一・二回の日曜日です。

監督 古澤 明



## 災害に備え防災訓練

東日本大震災から2年経ちましたが、依然としてその余震が各地で頻繁に地震が発生しております。いつ被災の大きい地震が起ころるかも知れませんので、3月10日(日)宝木地区の防災訓練を宝木小学校で実施しました。

よく言われる」とは、災害にあつたらまず「自助」その次に「共助」、すなわち一番先に自分の身を守り安全であったなら次に周りの人を助け、その後は「公助」公の機関による救助を待つことになります。この自助と公助を中心に子どもやお年寄りを含め約250名の方々が訓練に参加しました。

当日は、消防署のご指導をいただきながらいろいろな場面を想定し、各種の訓練を行ひ、参加者全員実感しながら真剣に取り組みました。



## 地域に根差した宝木まつり —アンケート—

昨年11月の宝木まつりでは、ご来場の皆様からアンケート調査をしました。ご協力いただきました方々にお礼を申し上げます。

多くの皆様から回答いただきまして、まつりが地域に根差したこと、あらたントになっていることを、あらためて認識させられました。なお、主なご意見を列挙しましたが、要望・提言については、今後できるだけ生かされるように、実行委員会において検討してまいります。

◎屋台村について

- ・さまざまな種類のものがあり、どれもおいしかった。
- ・おいしいんだけど、大きさや量が年々少なくなってきたびしい。
- ・売り切れが早く出るのは残念。

◎ステージコーナー

- ・もっとお客様がみられるように、ステージをひろくしてほしい。
- ・ステージがブルーシートではかわいそう、カーペットにしては。
- ・自転車のシミュレーション

## 編集後記

「宝木だより」も本号で14号となりました。これまで、北條会長が創刊号から一人で編集され、充実したたよりを届けてまいりました。

本年からは、私たちが編集委員として携わることになりました。委員一同、皆様に親しまれるより良い紙面づくりに努めてまいります。

これからも、皆様からのホットするような、地域の情報が、お寄せいただけるようご協力をお願ひいたします。

大金勇夫(自治会)、平野朱美(体育協会)、堀江功(育成会)、吉田澄子(婦人会)、渡辺憲郎(民生委員)

・自転車の安全ルールを学べてよかったです。

・子供が体験できてよかったです。

・多くの年寄りの方にも、やつてもうつたら。

◎その他

- ・福祉コーナーは勉強になつた。
- ・子供の映写会は子供のためによかったです。
- ・作品展がないのが残念。